

# ともえ



繁栄を  
あなたと育てる  
商工会議所



旧 棧 橋

No. 155

函館商工会議所報  
1994 — 8月号

# のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



## 函館信用金庫

本店 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

# Lhくみのローン

手続カンタン  
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オートック

★詳しくは窓口へ  
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

## 函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

今月の表紙／視点  
会議所の動き 2 5

・三号議員、二号議員選任決定

・函館港まつり盛大に挙行

・新幹線青函同時開業促進期成会総会開催

・青函ツインシティ提携五周年記念式典開催

・陳情・要望活動活発に実施

・社員採用合同企業説明会開催

・函館地区珠算競技大会開催

・国際チャーター便就航推進連絡協議会開催

データをチエック 6 6

調査レポート 6 9

地域の景気 金融経済概況 (六月)

・市内第一種大規模小売店舗売上高 (六月)

・函館地域の経済動向 (平成六年年度 第一四半期)

誌 上 講演 10 11

・若さの秘密わたしの場合 (上)

人を活かす 13 12

共済推進コーナー

ティータイム

暮らしのワンポイント

アイ・ラブゆうちゃん

有段を目指して 詰碁・詰将棋

アドバンスコーナー

・上杉鷹山に学ぶ経営戦略 (5)

Q & A 16 17

みんなの相談室 (税務相談 労務相談)

ご 案 内 18 20

・会員の皆様へお願い

・刊行物のご案内

・新会員ご紹介

・本所会員サービス事業のお知らせ

・検定試験のお知らせ

・簿記会計懸賞論文募集のご案内

◇今月の表紙  
旧 棧橋

正しくは「東浜棧橋」であるが、明治四十三年(一九一〇年)、国鉄駅に棧橋ができてからは、旧棧橋と呼ばれるようになった。明治維新後、開拓使や日本郵船などが青函航路を運航したが、殆んどこの棧橋を利用した。また、明治四十一年(一九〇八年)には、国鉄連絡船の就航により、沖に停泊の連絡船との間を、乗客等を運ぶはしけや小蒸気船が往来する光景が見られた。その後も、北洋漁業の母船の連絡棧橋として、重要な役割を果たした。当時、付近には、多くの飲食店や旅館が軒を連ね、出・帰港の折は賑賑を極めた。さらに、渡道者が、上陸第一歩をしるした記念の場所であることから、現在では、観光名所の一つとなっている。

# 視 点

今年是天候に恵まれ、農作物も順調に生育していることで、何よりと思います。特に七月中旬より日本列島は、連日三十度を越す猛暑が続き、一部の地域では水不足が深刻になってきています。当地でも七月中旬より連日二十五度を越す夏日が続き、野菜生産農家では一雨欲しい状況のようです。

所で昨年七月の総選挙後この一年の間に、細川内閣、羽田内閣そして村山内閣と、宮沢内閣後、目まぐるしい変転がありました。このことは、諸外国では日本の政情不安と見ているようですが、しかし、国内の情勢は割合に冷静といつても良いような状況にあるのではないのでしょうか。

注目されている日本社会党委員長でもある村山首相も、三軍の長として自衛隊の合憲、原子力発電等に対する現実的対処方針、そして永年党是としてきた非武装中立についても、新しい考え方を示すなど、大きな変革の波が社会党にも及び、これに前向きに対応しているともいえます。このように政治の分野では、予測できなかった大きな変動が生じてきています。経済の分野では、平成二年からの不況がようやく底に達し、明るい前途が見え始めたのではないかとこの見方もありますが、しかし、一ドル百円を切るような円高が、今回のように急激に生ずる限り、本年度の経済成長率は、昨年度のようにマイナスにはならなくとも、あまり期待できないと思います。一刻も早い総合的な経済政策の確立と実行が、今こそ望まれています。

# 本所議員の改選はじまる！ 三号議員・二号議員の選任決定

本所議員の任期満了（本年、九月三十日）に伴う新議員の選挙・選任は、議員選挙及び選任規約に基づき行われており、去る七月七日に開催された第十二回常議員会において、会頭が提案した三号議員十五人の同意が満場一致で議決され、確定告示を終り新三号議員が左表の通り決定しました。

また、当日、二号議員三十五人の部会別割当数も同時に議決され、商業、工業、農水産、運輸港湾、

## 会 議 所 の 動 き

理財、観光サービスの各部会が、七月二十五日から二十九日までの期間に開催され、左表の通り二号議員が選任されました。  
なお、一号議員（五十人）の選

三 号 議 員 (定数15人)	
函館空港ビルディング(株)	会 社 名
(株)北海道拓殖銀行函館支店	(株)丸井今井函館支店
(株)北海道銀行函館支店	日 本 化 学 飼 料 (株)
(株)ジャック	函 館 製 網 船 具 (株)
函館どつく(株)函館造船所	北 海 道 瓦 斯 (株) 函 館 支 社
(株)ニチロ函館事務所	北 海 道 電 力 (株) 函 館 支 店
(株)日本通運(株)函館支店	北 海 道 日 産 化 学 (株)
(株)松道本	会 社 名
(株)北海道函館事務所	

二 号 議 員 (定数35人)	
工業部会 (定数八人)	部 会 名
株式会社近藤商会	会 社 名
株式会社村瀬鉄工所	株 式 会 社 大 一 興 業 株 式 会 社
株式会社森川組	第 二 物 産 株 式 会 社
	辻 木 材 株 式 会 社
	株 式 会 社 ティーオー小笠原
	東 栄 株 式 会 社
	株 式 会 社 ニュールック
	株 式 会 社 西 武 北 海 道 函 館 西 武
	前 側 石 油 株 式 会 社
	部 会 名
観光サービス部会 (定数七人)	農 水 産 部 会 (定数五人)
株式会社魚長食品	函 館 魚 市 場 株 式 会 社
株式会社不二屋本店	函 館 定 温 冷 蔵 株 式 会 社
株式会社湯の川ランドホテル	北 海 道 乳 業 株 式 会 社
有限会社湯ノ浜	函 館 バ ス 株 式 会 社
	函 館 三 菱 自 動 車 販 売 株 式 会 社
	北 海 道 旅 客 鉄 道 株 式 会 社 函 館 支 社
	部 会 名
理財部会 (定数三人)	運 輸 港 湾 部 会 (定数二人)
有限会社和光ビル	函 館 商 工 信 用 組 合
株式会社エスイーシー	函 館 信 用 金 庫
五稜郭タワー株式会社	
函館山ロープウェイ株式会社	
株式会社花びしホテル	
株式会社不二屋本店	
株式会社湯の川ランドホテル	
有限会社湯ノ浜	

挙日程については、八月十八日に選挙告示がなされ、同日から二十四日までが、立候補、推薦届出の期間となっておりますが、詳細につきましましては、総務課にお問い合わせ下さい。

一方、若林会頭は、七月七日の常議員懇談会及び十九日の議員懇談会で、九月末日の任期満了をもつて勇退する意向を正式に表明さ

れ、次期会頭候補については、その席上で正副会頭に一任されました。その結果、二十一日開催の常議員懇談会及び議員懇談会で、次期会頭には現副会頭の松本演之氏を満場一致で推薦することになりました。

新会頭は、九月三十日の臨時議員総会において、選任される予定です。

# 開港百三十五周年記念函館港まつり 組織を変更し、さらに盛大に挙行

函館港まつりが、開港百三十五周年を記念して、今年も八月一日から七日までの日程で盛大に開催されました。

本年は、従来からの函館港まつりの運営組織である函館港まつり協賛会を発展的に解消し、新しく「函館港まつり実行委員会」（会長・沼崎弥太郎本所副会長）を組織して開催することになり、事務局も函館市観光課から観光協会へ移りました。

本所としては、同実行委員会へ参画し、函館市・観光協会とともに



▲お揃いの浴衣もあざやかに

にスタッフとして、全国花火大会など各種行事を運営しました。

## 新幹線青森・函館同時開業 促進期成会総会開催

新幹線青森・函館同時開業促進期成会（会長―本所若林会頭）の平成六年度定時総会が、去る七月二十二日日本所会議室で開催されました。

当日は、五年度事業報告と収支決算、六年度事業計画と収支予算について審議し、決定しました。

また、北海道新幹線については、本年二月大蔵・運輸・自治三大臣の申し合わせによる取扱いが明記されたことや、今秋には北海道が地元へ素案を示す予定であることから、出席者の満場一致で、東北新幹線の青森開業時には、新幹線規格で建設されている青函トンネルを活用し、函館までの同時開業の早急な実現などについて決議を

また、港まつりのメインイベントである「一万人踊りパレード」には、本所婦人会が中心となり、十字街コースに例年どおり参加し、沿道の観客から盛大な声援を受けました。

行い、今後陳情活動を実施することになりました。

尚、当日役員改選も行われ、会長については、会頭が本期成会会長と北海道新幹線建設促進道南地方期成会会長を兼務していることもあり、今後積極的な独自活動を進めるため、本会会長には、新幹線担当の松本副会頭が就任、他の役員はすべて留任となりました。

## 青森・函館シティ提携五周年記念式典開催

青森・函館ツインシティ提携五周年記念式典が、去る七月二十六日、青森国際ホテルにおいて開催され、本所から若林会頭が出席しました。

当日は、佐々木青森市長、木戸浦函館市長から、五周年を迎えるに当って「新青函経済文化圏の形成に向けたたゆみない努力と、交流を通じて育まれてきた熱き友情の賜である」との挨拶の後、青函交流に大きな功績があった本所を含む二十四のツイン提携団体に対して、表彰状が贈られました。

また、式典後の懇親会では、両市の更なる発展と末永い交流を誓い、終始和やかな内に終了しました。

## 陳情・要望活動 活発に実施

本所では、当地域振興発展のため、当面する課題の実現に向け関係団体と協調し、次の陳情・要望を、相次いで実施しました。

- ◎ 『北海道開発幹線自動車道建設促進期成会中央陳情』  
（平成六年七月二十八日）
- ◎ 『北海道開発推進道民総決起大会』 以上松本副会頭出席  
（平成六年七月二十九日）
- ◎ 『北海道新幹線建設促進期成会中央陳情』 若林会頭出席  
（平成六年八月四日）

# 地元企業二十三社が参加 平成七年度社員採用合同企業説明会

函館商工会議所と(株)函館地方法人会の共催により、平成七年度社員採用合同企業説明会が去る七月十六日、函館ハービービューホテルにおいて開催されました。

七月一日から始まった新規大卒者等の就職活動に合わせ、地元企業二十三社が参加して開かれたも

ので、当日は地元函館はもとより、札幌、東京方面からの学生、Ｕターン希望者など合わせて四百余名が会場を訪れました。依然として続く厳しい経済情勢

## 熱戦を展開!

### 函館地区珠算競技大会

本所主催の第四十七回函館地区珠算競技大会が、去る七月十七日本所で六十三名が参加して開催され、第一部一般・高校生、第二部中学生、第三部小学生の三部門に分かれて日頃の技を競いました。

団体・個人競技では乗算、除算、見取暗算、見取算、伝票算、応用計算の六種目、種目別競技では読上暗算、読上算の二種目が行なわれました。団体・個人競技の上位入賞者は、九月十一日に帯広市で開催される第五十二回全道珠算競技大会に函館地区代表選手として

を反映し、来春の採用を見合わせる企業が多い中で、採用を予定している企業にとっては、優秀な人材を確保するための絶好の機会とあって、企業担当者の説明にもより一層熱がこもっていました。一方、訪れた学生側も、会場内を精力的に回って質問し、また自己PRに努めるなど、熱気溢れる説明会となりました。

- 第一部 小川ひろみ(東高)
  - 第二部 八木 泰樹(桐花中)
  - 第三部 八木 英馬(昭和小)
- 読上算
- 第一部 砂田 雅美(中部高)
  - 第二部 八木 泰樹(桐花中)
  - 第三部 新家子由花(本通小)

### 国際チャーター便就航 推進連絡協議会開催

国際チャーター便就航推進連絡協議会(会長・西野本所国際交流委員長)が、去る七月二十八日、五島軒駅前店において開催されました。

当日は、平成六年度の協議会事業計画として、①CIQなど行政機関との懇談会の実施 ②需要予測基礎調査等の実施 ③国際チャーター便主催団体への協力 ④情報の提供 ⑤陳情、要望活動の六事業の推進を決定しました。また、協議会終了後、CIQ(税関、出入国管理、検疫)機関との懇談会が開催され、この中で、チャーター便増発に向け解決すべき問題点の提起やアドバイスなど貴重な意見交換が行われました。



▲熱気溢れる会場

- 出場できることもあり、各種目で熱戦が展開されました。
- 競技結果(一位のみ)
- (団体) 亀田中学校
- (個人)
- 第一部 野田 祐樹(教育大)
  - 第二部 八木 泰樹(桐花中)
  - 第三部 鮫川 陽子(高丘小)
- 「そろばん函館一」
- 八木 泰樹(桐花中)
  - 「そろばん小学生函館一」
  - 鮫川 陽子(高丘小)
- (種目競技)
- 読上暗算



# 事務局日誌

## 7月

- \* 正副会頭会議  
19(火) 第67回正副会頭会議
- \* 常議員会  
7(木) 第12回常議員会
- \* 部会  
25(月) 農水産部会  
運輸港湾部会  
26(火) 工業部会  
理財部会  
観光サービス部会  
29(金) 商業部会
- \* 会議(日商)  
19(火) 倒産防止特別相談事業平成6年度ブロック別商工調停  
土研究会  
20(水) 倒産防止特別相談事業平成6年度ブロック別担当者講  
習会
- \* 会議(道商連)  
27(水) 平成6年度経営改善普及事業説明会 小規模補助金等の  
交付申請書審査
- \* 審査会  
11(月) 第4回 小企業等経営改善資金審査会
- \* 諮問  
1(金) 函館市競輪運営協議会  
平成6年度 第2回 放送番組審査会(FMいるか)  
4(月) 副会頭打合せ会議  
平成6年度 中小企業向け融資制度説明会  
函館港まつり実行委員会第1回資金造成部会  
5(火) 北海道納税推進運動渡島地方支部委員会  
箱館奉行所復元促進期成会役員会総会  
1994年度第4回函館夜景の日実行委員会  
6(水) 国際チャーター便就航推進連絡協議会正副会長会議  
社会保険事務説明会  
函館港まつり実行委員会事業部会  
輸入情報提供ネットワーク説明会  
「いかの街はこだて」キャンペーン実行委員会、イカイ  
イベント部会  
7(木) 正副会頭打合せ  
第1回常議員懇談会  
第1回北海道高令者雇用促進協議会  
平成6年度第1回65歳継続雇用地域推進事業函館地区  
事業推進会議  
函館港まつり実行委員会 総務部会  
函館港まつり実行委員会事務局調整打合せ  
11(月) 函館港まつり実行委員会運行部会  
函館港まつり実行委員会開港セレモニー開催説明会  
12(火) 中小企業金融公庫函館支店懇談会  
14(水) 北海道テクノポリス検討協議会  
(仮称)北海道大型観光キャンペーン道南実行委員会  
平成6年度 障害者職場見学会打合せ  
15(金) 函館空港「空の日」実行委員会  
18(月) 函館市公文書公開審査会  
19(火) 第1回議員懇談会  
函館港まつり「一万人踊りパレード」参加団体責任者会議  
国立函館大学構想調査研究会  
20(水) 第54回海の記念日記念式典関係労者表彰式  
新幹線青森・函館同時開業促進期成会常任幹事会  
北海道新幹線建設促進期成会平成6年度第2回幹事会  
本所 婦人会7月例会 視察研修  
所報ともえ8月号 No.155 編集会議  
「いかの街はこだて」キャンペーン三部会合同会議  
21(木) 第2回 常議員懇談会  
第2回 議員懇談会  
新幹線青森・函館同時開業促進期成会会長常任幹事会  
22(金) 函館港・函館空港衛生管理協議会  
函館経済団体協議会事務局会議  
1994年度第5回 函館夜景の日実行委員会  
新幹線青森・函館同時開業促進期成会 正副会長会議  
新幹線青森・函館同時開業促進期成会 総会  
25(月) 平成6年度 函館市勤労青少年優良者表彰  
国際化を考える円卓会議'94  
函館地域技術担い手づくり推進協議会  
26(火) 青森・函館ツインシティ提携50周年記念式典  
平成6年度第2回函館社会保険委員会 役員会  
27(水) 函館極東貿易協同組合情報連絡会議

- 28(木) 国際チャーター便就航推進連絡協議会  
国際チャーター便就航推進に係る懇談会  
全国高速自動車国道建設協議会第30回総会  
29(金) 北東公庫第1回 地域開発フォーラム  
「いかの街はこだて」キャンペーン第2回実行委員会

- \* 講習・催物  
5(火) 経営相談  
10(日) 第7回 青函カップ ヨットレース  
第4回 青函ツインシティ・カクテルコンペティション  
14(木) わらび座舞踏劇「津軽」函館公演  
16(土) 合同企業説明会  
17(日) 市民創作函館野外劇「五稜星よ永遠に」  
(~8/7までの毎週金・土・日曜日)  
20(木) 発明相談  
22(金) 法律相談  
23(土) 第6回 道南くどき 全国大会

- \* 刊行物  
11(月) 所報「ともえ」7月号 No.154

- \* 相談・診断  
金融 88 税務 228 経理 13 経営 73  
労働 0 取引 0 その他 2 合計 404

- \* 貸書  
室 14  
文書 受信 280 発信 15

- \* 検定・試験  
10(日) 第19回 3級ワープロ検定試験  
13(水) 第34回 3級小売商(販売士)検定試験  
17(日) 第47回 函館地区珠算競技大会

- \* 陳情・要望  
28(木) 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会 平成6年度  
道路関係合同陳情  
29(金) 北海道開発推進道民総決起大会

- \* 慶事・その他  
1(金) 北海道運輸局函館海運支局中井支局長来所  
日本電信電話望月函館支店長 転任挨拶  
小山力函館税関長 退任挨拶  
みちのく銀行増田専務取締役・福原函館支店長来所  
2(土) 第15回 ミスはこだてコンテスト  
5(火) N H K函館放送局秋山局長・大村放送部長就任挨拶  
札幌銀行中島支店長 転任挨拶  
函館中央郵便局倉田局長退任・大蔵貯金課長 転任挨拶  
7(木) 金田誠一衆議院議員来所  
北海道開発局函館開発建設部上原次長 就任挨拶  
北海道教育大学夕陽会安島会長 就任挨拶  
8(金) 日本電信電話釧路函館支店長 着任挨拶  
11(月) 鉢呂吉雄衆議院議員来所  
函館税務署若澤署長・山崎・高田副署長 転任挨拶  
北海道経済同友会松田事務局長来所  
イトーヨーカ堂石倉店長・山下統括マネージャー来所  
12(火) 商工組合中央金庫山形函館支店長来所  
白藤明函館税関長 着任挨拶  
13(水) 道商連岩橋地域振興室長来所  
函館どつく(株)神津社長・高本造船所長・角谷営業部長  
表敬訪問  
15(金) みちのく銀行福原東京支店長・北山函館支店長 就任  
挨拶  
北海道拓殖銀行函館支店黒田副支店長 着任挨拶  
18(月) 道南食品(株)岡本代表取締役・森田取締役業務部長来所  
19(火) 北海道商工指導センター大槻副会長・東函館支部長来所  
函館税務署笹田署長・高路・佐藤副署長 着任挨拶  
20(水) 道立函館高等技術専門学院前田学院院长来所  
榎たくぎん総合研究所小暮調査研究第二部長・伊藤主任  
研究員来所  
21(木) (株)テクノポリス函館技術振興協会時田事務局長来所  
勸北海道科学産業技術振興財団柿田常務理事・北海道  
企画振興部調整課沢田主幹来所  
23(土) 第19回 高田屋嘉兵衛まつり顕彰慰霊式  
25(月) 函館市教育委員会斉藤スポーツ課長来所  
東洋建設(株)北海道支店横山部長・日下函館営業所長来所  
26(火) 第11師団長竹田陸将初度視察に伴う歓迎会  
産能短期大学内田通信教育部長・通信教育企画室三沢氏  
函館ソフトウェア専門学校北川校長来所  
27(水) 函館財務事務所細川理財課長来所  
28(木) 海上自衛隊函館基地隊渡辺司令 転任挨拶  
日本電信電話(株)安部副支店長 転任挨拶  
青森商工会議所高橋部長来所  
29(金) ミスはこだて一行 表敬訪問

(4) 建設関連

6月の管内公共工事請負額は、6年度予算成立(6/23日)の遅れが響いたこともあり、前年比マイナス8.2%の減少となった。一方、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(6月)は、持家、貸家とも高い伸びを示し、3か月連続して同プラス41.7%と前年を大幅に上回った。この間、建設業者では、住宅投資の好調に加え、公共工事についても、これまでの継続工事の実施により繁忙感を持続している。

(5) 農・漁業

農業では、水稻、馬鈴薯等農産物の生育は、天候に恵まれたことから全般的に順調。また、漁業では、近海マイカ漁は、シケも少なく好調な水揚げとなっているが魚価は幾分弱含みに推移。漁期入りした渡島管内コンブ漁は、順調な滑り出しとなっている。

(6) 消費関連

6月中の市内大型小売店(10店ベース)の売上高は、22か月連続の前年割れながら、前年比マイナス1.9%まで回復してきている。これは、主力の衣料品が夏物の好調な売れ行きにより23か月振りに同プラス1.2%と前年を上回ったことによるもの。また、耐久消費財では、家電販売は、家事用家電が引続き堅調であったほか、AV関連ではワイドテレビに動きがみられた。新車自動車販売をみると、6月の新車登録台数は7か月連続して前年を

下回ったが、割安なRV車等新型車投入の効果がみられ、2か月連続して同マイナス4.5%と小幅の落込みに止まった。この間、観光レジャー面をみると、引続き団体客を中心に入込みが伸悩んでおり、6月の市内主要ホテルの宿泊客数が2か月連続して同マイナス1.9%と前年を下回ったほか、観光施設の利用客数も低調に推移した。

3.金融事情(6月中)

実質預金をみると、ボーナス資金の吸収が順調に進んでいるほか、交付金の入金増等により、月中193億円増と前年の同110億円増を上回った。一方貸出は、月中59億円増と月中増加額では前年の同1億円増を上回ったものの、企業の抑制的な借入れスタンスを背景に6月末の貸出残高は前年比マイナス1.5%と6か月連続して前年を下回っており、依然弱基調。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、月中マイナス0.036%と引続き低下した。

銀行券は、月中85億円の発行超と前年の同56億円の発行超を上回った。

財政収支は、郵便局が払超に転化したものの、運用部貸付の減少や租税、保険の受入れ増により、収支戻は月中51億円の受超と前年の同46億円受超をやや上回った。

データをチェック!

# 人口の移動

~19人に1人は市区町村間を移動~

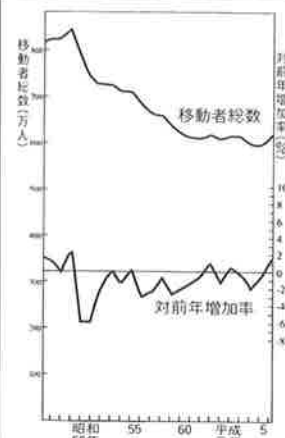
平成5年の1年間に、進学や就職、転勤などで、他の市区町村に、住居を移した人は約650万に上ります。前年と比べて約11万人、1.8%増えました。この数字は、埼玉県の全人口に匹敵し、日本人約19人に1人が何らかの理由で移動していることとなります。

この移動の単位を都道府県に置き換えてみると、同じ都道府県内での移動は約342万人。前年(平成四年)と比べ4.4%増となり、24年ぶりに4%台を越えました。

一方、他の都道府県への移動は308万人。移動率は、昭和32年以降最低の数字に当たり、現在3年連続で減少をたどっています。景気の低迷とともに、他の都道府県への移動が少なくなっているのです。

このような人口の移動を月別にみると、一年の中でも4月が最も多く、次いで3月の順となっています。この2カ月間は、転勤や就職、入学など、年度の変わり目に当たることから、移動する人全体の35%を占めています。

市区町村間移動者総数及び対前年増減率の推移





地域の景気

# 金融経済 概況 6月

(平成6年7月28日発表)

日本銀行函館支店

## 1. 概況

管内経済をみると、公共投資、住宅投資が好調を持続していることに加え、個人消費においても家事用家電、RV車、衣料品等で持直し傾向が続いており、景気全体は、緩やかに回復に向けて動き出している。

すなわち製造業では、水晶振動子が国内外における移動体通信機器の需要好調から、セメントも官公需や輸出向けを中心に、ともにフル生産体勢を継続している。また、半導体が米国向け4MDRAMの需要好調等から、造船も新造船部門を中心に、高水準の操業となっている。さらに合板機械、漁業機械もまずまずの操業を続けている。一方、水産加工の売上は、乾燥珍味の需要低迷を主因に再び前年を下回った。また、製缶機械が依然として減産を継続しているほか、水産加工機械の売上も一進一退の状況にある。

一方、非製造業では、6月の市内大型小売店の売上は、主力の衣料品が持直したことを主因にほぼ前年並みにまで回復してきた。耐久消費財では、家電販売は白物といわれる家事用家電を中心に底堅い動きが続いているほか、新車自動車販売についても、6月の新車登録台数は引続き前年を下回ったものの、割安な新型車投入の効果等がみられ、比較的小幅の落込みに止まった。この間、市内の観光動向をみると、引続き団体客を中心に入込みが伸び悩んでおり、宿泊施設、観光施設とも利用客数は低調に推移した。

農業をみると、水稻、馬鈴薯等農作物の生産は全般的に順調。漁業では、近海マイカ漁が好調な水揚げを続けているほか、漁期入りした渡島管内コンブ漁も順調に推移している。

雇用面では、6月の有効求人倍率（季節調

整済）は0.49倍と低水準ながら、4か月振りに前月の0.45倍より改善をみた。

こうした中、夏場観光について窺うと、①円高により割安となった海外旅行に観光客がシフトしていること、②冬場には観光客の低価格志向に合わせて安値の宿泊料金を設定していたが、書き入れ時の夏場を前に、宿泊料金を元に戻したこと、また、③足許の宿泊予約状況をみても団体ツアー客を中心に動きが鈍いこと、などから、今一つ盛上がりには欠けるのではないかとの見方が一般的。

6月の金融動向をみると、預金は、個人、公金預金を中心に堅調な推移となっているものの、貸出は依然低迷している。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は引続き低下した。

## 2. 主要業種別動向

### (1) 機械、電子部品

水晶振動子は、国内外での移動体通信機器の需要好調を映じて増産体勢を継続している。また、半導体は米国向け4MDRAM、パソコン・家電向けマイコン等の需要好調を主因に、造船も新造船部門を中心に、ともに高水準の操業となっている。さらに、合板機械が豊富な受注残の消化のため、まずまずの生産を継続しているほか、漁業機械も、漁船設備の更新投資が引続きみられることから前年を上回る生産を続けている。一方、製缶機械は、製缶業者の抑制的な設備投資姿勢の影響から減産体勢を継続しているほか、水産加工機械も、国内加工業者からの引き合いが依然乏しいため、前年を下回る売上となった。

### (2) 食料品

水産加工の売上は、生鮮珍味は順調に推移しているものの、乾燥珍味が需要低迷を背景に不冴えであったため再び前年を下回った。一方、魚油の売上は引続き順調に推移している。

### (3) その他製造業

セメントは、官公需や需要旺盛な東南アジア向けを中心にフル生産を続けているほか、生コンの出荷も災害復旧工事が順調に進捗していることを背景に、前年を大幅に上回っている。また、段ボールの生産は青果物向けを中心に引続き順調に推移している。一方、合板は、インドネシア産輸入合板など安値代替品への需要シフトを映じて出荷が大幅に減少しており、抑制的な生産を続けている。

この間、漁網では、一部定置網等で需要の増加がみられるものの、全体の生産水準は低調に推移。

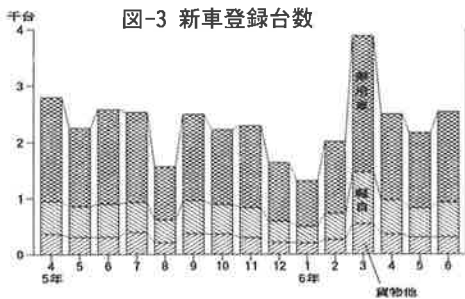
同 4.9%減といずれも前年同期を割り込んでいる。

(ニトリ家具を除く10店舗、消費税分除く)

② 新車登録台数

第1四半期の管内新車登録台数は、7,200台で前年同期に比べ5.6%の減少となり、平成5年度第1四半期から5期連続の前年同期比割れとなった。

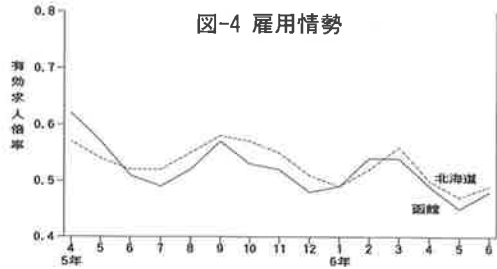
車種別では乗用自動車が4,487台で同8.9%減少、貨物・その他でも964台で、同0.8%の減少となったが、軽自動車が1,749台で同1.0%の増加となっている。



4. 雇用情勢

第1四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は、月平均有効求職者数が8,171人で前年同期に比べ13.5%の増加、月平均有効求人数は3,877人で同4.7%減少し、有効求人倍率は

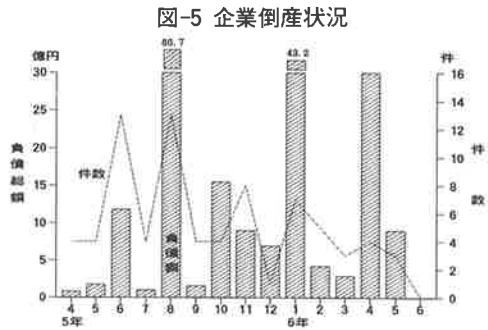
は前年同期を0.10ポイント下回る0.47倍となった。また、新規求人数は4,817人で同7.3%増加している。(パートの常用分含む)



5. 企業倒産状況

第1四半期の管内企業倒産は、7件で前年同期より14件減少したが、4月に不動産関連で大型倒産が表面化したこともあり、負債総額は41億8,000万円で、同190.3%の大幅増となっている。

(負債額1,000万円以上、内整理を含む)



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店> 平成6年6月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,780,335	101.2	101.3
身の回り品	644,956	100.5	95.5
雑貨	616,021	93.9	97.2
家庭用品	842,029	149.5	98.4
食料品	1,670,374	94.3	95.9
食堂・喫茶	136,077	88.7	99.2
サ―ビス	80,082	110.7	80.7
その他	499,051	96.5	95.4
総計	7,268,925	102.0	98.1

統計資料

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、グイエー五稜郭、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、グイエー湯川店の各店

# 函館地域の 経済動向

平成6年度 第1四半期

平成6年度第1四半期の函館地域の経済動向は、公共工事、建築着工が引き続き好調を維持して推移、一部生産活動でも明るさを増しており、景気回復への期待が高まったが、大型小売店販売、乗用車販売など個人消費関連が未だに低迷を脱せず、有効求人倍率も引き続き低水準で推移したほか、急激な円高による景況への影響も懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移している。

## 1. 公共事業発注状況

平成6年度の函館管内公共事業関連予算額（6月時点）は、総体で1,092億1,700万円 で前年度（894億6,500万円）に比べ197億5,200万円、22.1%上回っている。

第1四半期までの実績では、各機関予算成立の遅れもあって、発注額が526億3,600万円 で前年同期に比べ、15億8,800万円、2.9%の減少、発注率は48.2%となっており、次期以降の進捗が期待される。

機関別にみると、函館開発建設部が発注額320億8,900万円、発注率52.8%で、前年同期に比べ40億1,500万円、14.3%の増加となっており、引き続き災害関連事業の増加が目立っている。函館土木現業所では発注額158億4,100万円、同37億8,200万円、19.3%の減少、函館市では発注額が47億600万円、同18億2,100万円、27.9%下回っている。

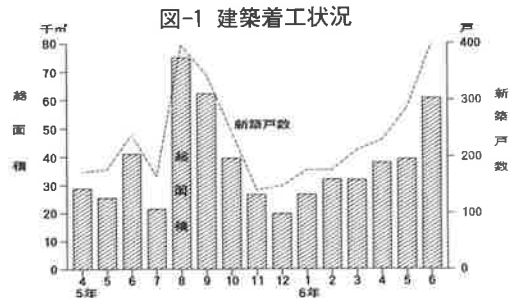
## 2. 建築着工状況

第1四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が137,735㎡で前年同期に比

べ45.0%の増加、このうち住宅部分床面積は98,588㎡で同42.8%増加している。

また、住宅総戸数は1,014戸で同50.2%増加しており、うち新築住宅が916戸で同55.5%の増加、増改築は98戸で同14.0%の増加となっている。

新築住宅戸数の内訳をみると、持ち家475戸（同39.7%増）、貸家355戸（同74.9%増）、分譲・その他86戸（同87.0%増）となっている。

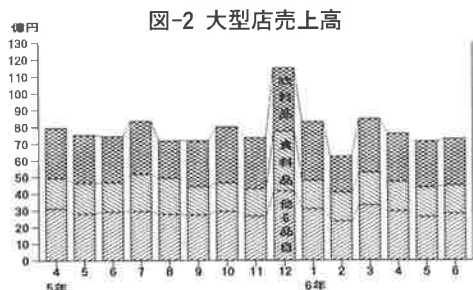


## 3. 個人消費

### ① 大型店売上高

第1四半期の市内第一種大型店売上高は、総額で219億8,329万円、前年同期に比べて3.8%の減少と、平成4年度第3四半期から7期連続で前年同期比割れとなっている。

品目別では主力の衣料品が84億1,035万円 で同2.3%の減少と低迷が続いているが、6月には1.3%の微増ながら、平成4年7月以来、やや2年ぶりの前年同月比増となっており、次期以降に期待される。もう一方の主力食料品は51億9,023万円、同3.9%減少しており引き続き低迷。以下身の回り品が19億7,261万円、同3.2%減、雑貨20億4,586万円、同7.3%減、家庭用品21億3,512万円、



## 50代でスポーツに開眼

## —若さの秘密 わたしの場合—(上)



経営評論家 竹村 健一

30~40代までの僕は、ひたすら仕事に没頭した。一時は民放5局の全てにレギュラー番組をもって、「電波怪獣」なんて世間からいわれたもんや。放送局から放送局へ移動する車の中で横になり、打ち合わせや休憩時には、ソファにゴロンと寝転ばないと、とても体がもたない。「このままじゃ、そのうち死にそうや」という感じになってきた。

それまでの僕は、遊ぶことをすっかり忘れていたわけです。やはり、仕事と遊びを両立させなきゃ駄目だ。そのことを改めて感じてね。それを実践にうつそうと思いついたわけです。

## ■テニスで新しい自分を発見

満50歳になった年の体育の日やった。たまたま箱根の別荘の周りを散歩していたら、知り合いがテニスをやっていてね。「竹村さん、一緒にどうですか」と言うのですわ。それで生まれて初めてラケットを握って見たら、これが意外に面白くてね。

だいたい僕は、若いときからスポーツを敬遠してきたようなところがあったから、何

か新しい自分を発見したような気持ちになった。それでテニスを始め、別荘が近かったソニーの盛田会長とテニスをするようになったんよ。

数年後、今度は盛田さんからスキーに行かないかと誘われた。そのとき僕は57歳やった。「こんな年でスキーなんてやったら、足を折るのが関の山や」と思って、最初はしり込みしたんだ。ところが、たちまちスキーのとりこになったんよ。今年の冬も、講演依頼は、スキー場のあるところを優先させたほどで、もうのめり込んでいるね。

そして、スキーを始めた翌年には、これも盛田さんにハッパをかけられて、スキューバ・ダイビングを始めたんだ。そう、50代でスポーツに開眼したわけなんやな。

■体の調子が  
すごくよくなった

「そんな年で激しいスポーツを始めるなんてムチャだ」と周りの人が言うけど、僕は生来の「あまのじゃく」やから、反対されたら余計にやりたくなるんや。

けど、スポーツをやりだしてから、体を使う量は以前の

何倍にもなっているのに、体の調子がすごくよくなった。頭がさえてきたかどうかは、皆さんに判断してもらう以外ないけど、自分ではまあまあよくなっているのとちゃうかなと思うね。

うれしいのは体がスリムになって、軽くなったことや。最近、「おなかへこんだね」と会う人ごとに言われるのもええもんやね。

つづく

## 【竹村健一（たけむら・けんいち）氏の略歴】

昭和5年4月7日、大阪府生まれ。64歳。経営評論家。京都大学英文科卒業後、ソウルボンヌ大学などで学ぶ。「英文毎日新聞」記者、山陽特殊製鋼調査部長、追手門学院大学助教授を経て評論家となる。



アサガオ